



きらりいわた人

第30回全日本大学女子サッカー選手権 準優勝 静岡産業大学サッカー一部女子

2 022年1月6日、東京都内
は雪に見舞われた。その中で
行われた、第30回全日本大学女子サッ
カー選手権の早稲田大学との決勝戦。
熱い戦いを繰り広げた末、惜しくも敗
れはしたものの、2年連続準優勝とい
う好成績を残した静岡産業大学サッカ
ー部女子。出場選手に、この大会にか
けた思いを語ってもらった。

『日本一』をかけた舞台上で

昨年新チームの始動から、私たち18
人の目標は『日本一』になることでし
た。準優勝という結果にとても悔しい
思いをしていることは事実ですが、こ
のチームで私たちらしく戦えたことを、
本当に誇りに思います。

大切にしていることは、基礎練習

練習は週に6回、講義を終えた夕方
から始まり、2時間みっちり基礎を磨
きます。試合スケジュールによって練
習メニューは変わりますが、チームが
最も大切にしている「止める・蹴る」
を意識した練習をしています。こうし
た練習を重ねた結果、味方・相手・ス
ペースなど周りを見る余裕が生まれ、
プレーの選択肢が増えたことで、サッ
カーがより楽しく感じられるようにな
りました。

目標を共有する仲間たちの存在

昨年の準優勝という結果から、『日
本一』が夢でなく、明確な目標となり
ました。その目標を達成するため、ミ
ーティングの度に、活発な意見交換や
目標の再確認を行いました。時には厳
しい指摘が飛び交い、意見が食い違う
こともありましたが、それを言い合う
ことのできる人間関係は、私たちにと
って大きな財産となりました。

今大会の中で、一番印象深い試合

2回戦で戦った前回チャンピオンで
ある帝京平成大学との一戦です。前半
は0-2で負けていました。後がない
状況でしたが、後半アディショナルタ
イムで同点に追い付き、PK戦で勝利
することができました。とてもドラマ
チックな展開だったので、あの戦いが
一番心に焼き付いています。

サッカーは私たちの頂点

自分たちを構成しているものをピラ
ミッド型にすると、サッカーはその頂
点に君臨しています。サッカーの練習
がないと一日に物足りなさを感じるこ
とがありますね。サッカー無しに、私
たちの4年間は語れません。私たちの
目標だった『日本一』になることは、
後輩たちに受け継いでもらい、必ず成
し遂げてほしいと思っています。